

シルバー

ところざわ



◆発行 社団法人 所沢市シルバー人材センター広報部会 1997 正月号

No. 57



清冽の狭山湖（所沢市山口）

他監

事務事

務員 塚齊西小牧久市柳小深宮高細澤佐秋梶長矢兼伊高大高斎

本藤窪泉野保川下林川本橋谷口藤山畠野島松藤野野橋藤

一幸武 正辰仲義昌 敬廣昭富善 瑞力き政英敬義

同子司治雄助秀一夫晟隆子成司保一條允穂夫え一二司男博

理事専務相顧

副理事談問

局理事長役

事長事長

謹賀新年



新春のごあいさつ

理事長 高野英二

新年あけましておめでとうございます。会員皆様にはますますご健勝にて新しい年を迎えたことを心よりお慶び申し上げます。私は、昨年の五月、平成八年度定期総会において理事長に就任させていただきましたが、依然として景気が低迷する中、幸い当センターでは事業実績、就業率とも相応の結果を見ることができました。これはひとえに市民皆様のご理解・ご支援と、市民皆様のご理解・ご支援と、役職員各位一体となってのご尽力によるものと深く感謝申し上げる次第でございます。

本年も市民皆様の一層のご支援ご協力をお願ひ申し上げますと共に、会員・役職員各位が尚一層、センターの発展・充実を目指し連携を保ち事業を推し進めてまいりたいと存じます。

特に昨年五月「高齢者等の雇用の安定に関する法律」の改正によりまして、從来各都道府県をブロックとした協会組織を



新しい年を迎えての抱負

専務理事兼事務局長 矢島力夫

新年あけましておめでとうございました。

会員の皆様におかれましては、お健やかに初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は図らずも専務理事兼事務局長に就任、当然ながら不慣れなため右往左往の年でございました。幸にして「自主・自立」「共働・共助」の理念と知識・経験に富み、働く意欲に溢れた七百数十名の会員皆様に支えられ、センター事業の発展と充実を目指し、健全な運営ができ

法人化し、同ブロック毎に「シリバーカンパニー連合」を設立することとなりました。これにより従来市町村単位で事業を行っていたものを「連合本部」が業務の調整を行うことにより、他市町村にまたがる広域的、かつ大規模な仕事の受注が可能となり、十月には全国十四都道府

期して参りたいと思います。市・関係機関・事業主並びに市民皆様の一層のご理解・ご支援と、会員役職員皆様の変わらぬご協力を願い申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。



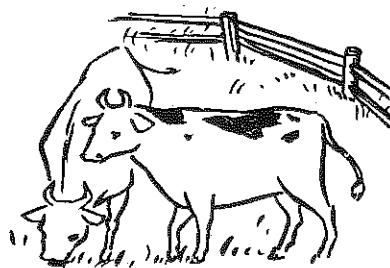
県が連合に移行発足、埼玉県もこれに加わりました。所沢市シルバー人材センターも平成十年には創立二十周年を迎えますが、活動の充実と会員の増強に努めるなど時世に即応した健全な発展を期して参りたいと思います。

その一環といたしまして、会員皆様方が多様な分野の短期的・臨時的な仕事に充分に対応出来る態勢が整っていることを、あらゆる機会を捕らえまして市並びに市民・各界・各層の皆様に訴え、会員皆様に必ず何らかの就業機会が得られるよう努めて参りたいと心新たにいたしております。

ご存じのとおり、今後高齢化

がさらに進む中で、シルバー人材センターの果たす役割はますます大きくなっています。理事長さん初め、会員・役職員皆様のお力添えを賜りながら更に精進に努めて参る所存でございます。何とぞ一層のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげ、また、皆様方のご活躍とご健勝を心からご祈念申しあげ新年に当たつてのご挨拶と抱負の一端とさせていただきます。





今年は私達の年です

丑どしの会員が49人いらっしゃいます。新しい年にあたって、皆さんから一言いいただきました。(敬称略)

①健康に気をつけていること

②趣味・特技

③新年に当たって思うこと一言

◆◆大正二年生れ◆◆

◎高橋 義男 3・25生

(インドにいるお嬢さんを訪問の予定だったのですが、暮れにトラブルにあって怪我、入院されました。が退院、自宅静養中)

◎山本 英香 3・23生

(別稿をお読みください。のんきがモットーだそうです。)

◎室町道三郎 2・20生

(自宅で病臥療養中です。一日も早くお元気になられますよう心からお祈りいたします。)

◆◆大正十四年生れ◆◆

◎坂本 淳 4・7生

①自転車で遠出すること
②自転車が趣味③今年も元気で自転車を飛ばしたい。

◎當摩 保雄 9・9生

①暴飲暴食をつつしむ②野菜づくり③早寝早起で野菜を作っています。よく歩きます。

◎測江 恒次 3・15生

①ウォーキング②将棋、碁、

◆◆大正十四年生れ◆◆

◎村田 久子 2・1生

①歩くこと②あみもの③友人を大切にして人の輪をひろげたいと思っています。

◎種苅 葉 10・17生

◆◆大正二年生れ◆◆

◎小井沢 明 9・14生

①植木の手入れをまめにすること②花木や鉢物③四人の孫との交流が楽しみです。

◎市川 昇 3・6生

①規則正しい生活②ドライブ③ドライブも晩酌も夫婦一緒にす。

◎瀧本 義郎 7・19生

①よく歩くこと、特にダンス②趣味はダンス③ダンスは健康に最適、皆さんもダンスをどうぞ。

◎笠井 常次 1・21生

①一時間の散歩②暮③今年はカラオケに挑戦するつもりです。

◎神谷 次雄 6・7生

①酒もタバコもやりません。

◎飯島 三郎 5・23生

①早起き②ナイ③耳が悪いので……

◎笠井 常次 1・21生

①一時間の散歩②暮③今年はカラオケに挑戦するつもりです。

◎神谷 次雄 6・7生

①酒もタバコもやりません。

◎三浦 ヒサ 5・10生

①身体を動かして一生懸命働くこと②花づくり③迷子のインゴがもう十年居ついています。

◎風巻 道子 11・29生

①軽体操を続けています②ハイキング③家族五人がいつも一緒に遊びに行きます。とても楽しいことです。

◎宮脅 文枝 11・17生

①ヨガ②旅行、音楽も好き③勤めている娘に代わって私が育てた孫娘が今年無事卒業です。

◎田口 良男 8・10生

①禁煙、酒も少々にした②カラオケ③オートテニスに通っています。テニスがうまくなることを。体力アップがねらいです。

俳句、書道③夫婦そろって朝の散歩を楽しんでいます。
○岸 啓二 11・12生

①一時間ぐらいの散歩②草花栽培③動ける限り今の社会福祉の仕事を続けて行きたい。

○佐藤 善一 2・8生

①仕事に追われた後の一一杯の酒でストレスを解消②酒③友達を一杯作りましょう。

○北原 利晃 3・29生

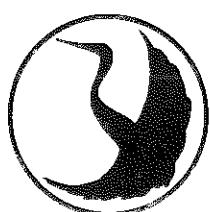
①体操を三十分、酒もタバコもやめました②絵③孫が遊びに来るのが楽しみです。

○佐藤 善一 2・8生

①体操をしています②彩墨画③「一日」を大切に、これがモットー。

- ◎皆川福太郎 10・25生
 ①タバコをやめた②ゴルフの打球練習③ちょっと身体をこわしたので早く健康を取り戻したい。
- ◎持 翁 4・3生
 ①物事にこだわらないこと②墓のシャクナゲを見に今年は十文字峠を歩くつもりです。
- ◎梅沢かすみ 9・2生
 ①気ままに生きる②孫と遊ぶこと、編物③牛のようになんまり暮し、誰にも迷惑かけずこつそり旅立ちたい。
- ◎笛尾 六子 4・18生
 ①消化の良いものを心掛けている②編物③息子一人ともまだ自身です。今年はぜひ結婚してほしい。
- ◎針谷かつい 3・15生
 ①太極拳②畠の耕作と花の栽培③家族五人が団結して楽しく暮らしてゆくのが念願です。
- ◎松井 義男 9・19生
 ①毎朝体操している②筆耕③さあ行こう牛の如く突っ走れ、楽しい人生これからだ。
- ◎高山 清次 4・3生
 ①減煙②将棋③男の子ばかり三人の孫と一緒にです。にぎやかです。
- ◎町田 武二 12・15生
 ①健康も過信しないこと②墓のなにしろ健康第一
- ◎富田 花子 1・3生
 ①歩くこと、よく働くこと②旅行③昨年は九州を回りました。今度は北海道をねらっています。
- ◎小峰 吉雄 1・5生
 ①夫婦で二時間のウォーキング②盆栽③次男の勤めている力
- ◎山田 輝彦 1・10生
 ①物事を深刻に考えないこと②読書③健康一番
- ◎五木田光由 2・1生
 ①何でも食べ、よく動くこと②登山③今年は四国の最高峰、石槌山に登る予定です。
- ◎西崎 菊二 3・5生
 ①歩くこと②鳥を飼うこと③一人息子は今年三十一です。早く嫁が欲しい。
- ◎桜井 長次 12・24生
 ①庭の手入れと一合の晩酌②将棋③やさしい一人孫(男、大學生)が結婚して、早く曾孫の顔を見せて貰いたいです。
- ◎渡辺 喜蔵 5・23生
 ①好きな酒を心して飲んでいる②ないナ③兵隊の頃、配置替
- ◎網河きよ子 6・1生
 ①くよくよしないこと②パッチワーフ③健康のため歩くことを心掛けています。
- ◎伊藤 健治 10・17生
 ①もともと健康です。よく動きます。②釣り③うちは七人家族で、ぎやかです。孫をつれてよく川釣りにいきます。
- ◎吾妻地区 別江 恒次
 山鳥の愛し餌付けの若葉径
 若葉風詩は東屋越えて
 田の畦を鋤一振りの野蒜採り
 陶狸に一日一善百合咲けり
 藤村碑建つ城跡の蝉しぐれ
- ◆◆昭和十二年生れ◆◆
 ◎金子 梅子 2・7生
 ①詩吟を吟じること②詩吟③高校の息子の野球の応援が楽しみでしたが、今年は大学受験で度訪ねたい。
- ◎台 俊雄 3・7生
 ①起き抜けに一〇分の体操②測定で、今年も続けて「49歳相
- ◎藤原 知直 4・3生
 ①ウォーキング②詩吟、カラキンギ③毎年受けている市の体力測定で、今年も続けて「49歳相
- ◎高橋 透 3・9生
 ①スポーツクラブでのウォーキング②水彩画③私たちの絵のグループは今年ミューズで画展を計画中です。
- ◎佐藤 正志 9・15生
 (自動車事故で骨折、通院中です。)
 一人息子は今年三十一です。早く嫁が欲しい。
- ◆◆昭和十二年生れ◆◆
 ◎金子 梅子 2・7生
 ①詩吟を吟じること②詩吟③高校の息子の野球の応援が楽し
- くづく幸せを感じこの頃です。

〔俳句〕



趣味とはいえませんが、楽しく清掃奉仕を続けています。③長男夫婦と孫の四人家族です。つくづく幸せを感じこの頃です。

趣味とはいえませんが、楽しく清掃奉仕を続けています。③長男夫婦と孫の四人家族です。つくづく幸せを感じこの頃です。

◆◆昭和十二年生れ◆◆
 ◎金子 梅子 2・7生
 ①詩吟を吟じること②詩吟③高校の息子の野球の応援が楽し

くづく幸せを感じこの頃です。

(悌子)

七回目・年男の回想（大正二年生）

山口地区 山本英香

年男の一人だから、広報紙に一文を投じて欲しいと嬉しいご指名。七回目の年男は八十四歳にもなったのか！更めて八十余年の人生を振り返ってみる。思えば私達年代の青春は戦争の真只中、命をかけての年月。一方、生活の面では奢侈品禁止令という現代では考えられない法令に追われ、ために内地での商売に見切りをつけ家族四人、素手で北満（現在の中国東北地方の北端）に逃げ出したのが昭和十五年。やっと生活ができるかなあと思った矢先の昭和二十一年、いわゆる終戦の年の八月三日二度目の召集を受け、妻に幼児四人を託して新京に入隊、そして間もなくあの終戦。

家族のことを心配しながら、シベリアバイカル湖の北方ティ

ア地区に連行抑留。零下四十度の酷寒、やつと生きるに足るだけの僅かな食糧が与えられる中

で重労働、次々に斃れる戦友をみて次は自分の番だ、と覚悟しながら丸二年。昭和二十二年八月衰弱しきつて骨と皮になつた

年男の一人だから、広報紙に一文を投じて欲しいと嬉しいご指名。七回目の年男は八十四歳にもなったのか！更めて八十余年の人生を振り返ってみる。思えば私達年代の青春は戦争の真只中、命をかけての年月。一方、生活の面では奢侈品禁止令という現代では考えられない法令に追われ、ために内地での商売に見切りをつけ家族四人、素手で北満（現在の中国東北地方の北端）に逃げ出したのが昭和十五年。やっと生活ができるかなあと思った矢先の昭和二十一年、いわゆる終戦の年の八月三日二度目の召集を受け、妻に幼児四人を託して新京に入隊、そして間もなくあの終戦。

家族のことを心配しながら、シベリアバイカル湖の北方ティ

ア地区に連行抑留。零下四十度の酷寒、やつと生きるに足るだけの僅かな食糧が与えられる中

で重労働、次々に斃れる戦友をみて次は自分の番だ、と覚悟しながら丸二年。昭和二十二年八月衰弱しきつて骨と皮になつた

年男の一人だから、広報紙に一文を投じて欲しいと嬉しいご指名。七回目の年男は八十四歳にもなったのか！更めて八十余年の人生を振り返ってみる。思えば私達年代の青春は戦争の真只中、命をかけての年月。一方、生活の面では奢侈品禁止令という現代では考えられない法令に追われ、ために内地での商売に見切りをつけ家族四人、素手で北満（現在の中国東北地方の北端）に逃げ出したのが昭和十五年。やっと生活ができるかなあと思った矢先の昭和二十一年、いわゆる終戦の年の八月三日二度目の召集を受け、妻に幼児四人を託して新京に入隊、そして間もなくあの終戦。

生きて故郷には帰れない、生きて逢うことはできないものと諦めていた妻と四人の子供とも元気で逢うことができたのだ、頑張ろう。体の調子が良くなるにつれ食欲も湧き、妻と二人で必死の活動を続けた。

担ぎ屋から始まり、小さいながらも店舗も持ち、やがて駅通りに出店、日本では初めてのス

ーパーマーケットの導入にも加わって昭和三十五年全国チェ

ーン店四十八店中の二十一号店を開店する。開店五年程で乗取りに合つて倒産途方にくれた。幸

い子供達は教育も終り立ち

た矢先にシルバー人材センターの存在を教えられ、平成二年十

二月に入会いたしました。入会以後もセントラルでの就業時間以

外の余暇は趣味の絵を描くことに充てています。それというの

について考え、老後はちゃんと年金が得られる確実な企業に就

私に重医は内地送還を命じてくれた。

故国に帰還、夢の中のよう

に、五日が過ぎた八月三十一日、生まれ故郷の実家の縁側に腰かけ、思いも寄らない、先に無事に引き揚げていた家族に囲まれ、遅いお盆の盆踊り太鼓の音に聞き入っていた。

生きて故郷には帰れない、生

きて逢うことはできないものと諦めていた妻と四人の子供とも元気で逢うことができたのだ、頑張ろう。体の調子が良くなるにつれ食欲も湧き、妻と二人で必死の活動を続けた。

担ぎ屋から始まり、小さいながらも店舗も持ち、やがて駅通りに出店、日本では初めてのス

ーパーマーケットの導入にも加わって昭和三十五年全国チェ

ーン店四十八店中の二十一号店を開店する。開店五年程で乗取りに合つて倒産途方にくれた。幸い子供達は教育も終り立ちた矢先にシルバー人材センターの存在を教えられ、平成二年十

二月に入会いたしました。入会以後もセントラルでの就業時間以

外の余暇は趣味の絵を描くこと

に充てています。それとい

うの

について考え、老後はちゃんと年金が得られる確実な企業に就

職することだ、との結論に達し三十年間の商売から足を洗つた。

知人の紹介で明治薬科大学の男子寮の要員として妻と一緒に就職、以後十七年間勤務して揃つて定年退職、所沢市に土地を

買い家を建て、年金生活に入りました。

昭和五十七年七月一日、現、

所沢市シルバー人材センターの

前身高齢者事業団に入会、翌五

十八年三月から西武鉄道（株）

の祈願寺天台宗狹山山不動寺に

趣味の毛筆々耕を活かし、妻に

老後を送ることを何よりの幸

せであると今思つております。子

供達も立派な社会人となり、何

ンタ―からの就業要請を待ちな

がら元気に過ごす毎日です。子

供達も立派な社会人となり、何

の心配もなく年金を頂き健康な

老後を送ることを何よりの幸

せであると今思つております。子

供達も立派な社会人となり、何

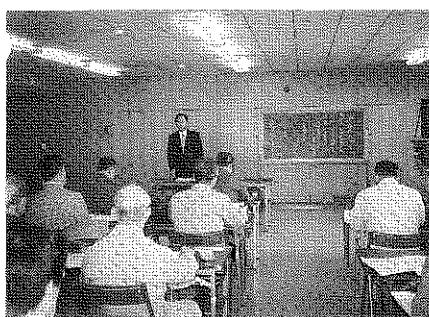
員会主催による会員安全就業確保（途上事故の防止等）研修会が旧市役所4階会議室で70余名の出席を得て開催された。

昨秋10月15日（火）、安全委

=会員安全就業推進、安全委員会通信=

安全の確保がすべてに優先!!

「平成8年度秋の 会員安全就業研修会」開催



講演中の見澤講師

得られるからです。絵を描くといふことは絶好の余暇の過ごし方です。多少経費がかかりますが、その資金源は幸いシルバー人材センターでの就業に伴う配分金です。今後は単に趣味にとどまらず技術の向上に努め、近い将来には個展を開いたり、中央の展覧会にも出品したいと思っています。今我が家は私の作品で家中

が絵だけで画廊のようです。今私にとってシルバー人材センターは働く喜びを与えてくれ、多少でも老後の豊かな生活を実感させてくれると共に、多くの知人友人ができることではないでしょうか。

今年も多くの会員の方々と力を合わせ、センターの発展に寄与し、自からの夢の実現に一步でも近づいて行きたいと思ってます。今年も多くの会員の方々と力を合わせ、センターの発展に寄与し、自からの夢の実現に一步でも近づいて行きたいと思ってます。

長野安全委員長の開会の言葉に引き続いて矢島専務理事の挨拶。専務からは主として平成8年1月以降9月末現在における埼玉県下の交通事故発生概要、特に死亡事故290件中25%に当たる72件を高齢者（60歳以上）が占めるなど、益々多発の傾向

最近発生している傷害事故の発生事例を参考とする防止対策と保険上からの対応、及び賠償責任並びに傷害補償の適応範囲などを、細部解説。そして最後に「保険はあくまで事故の一部補てんに過ぎず、安全の確保がすべてに優先することの認識を一層深めてほしい」と結ばれました。引き続いて持参頂いた「お元気ですか：お年寄りの交通安全」と題するビデオの観賞。内容は日頃高齢と言われる私達にとって最も身近で安易に利用できる「自転車」の安全利用と危険の防止についてでした。観賞後のアンケートでは全員が「良かった」と意外な程の好評。要因はどこにあったのだろう。意外にも介さず利用していた自転車に意外と思える程の規制や罰則、そして危険が一方に潜んでいることを画面を通じ現実に近い形で認識されたところにあったのだと思う。

法律上（道交法）では、自動

にあるので、所属会員に対し安全就業、特に交通事故の防止について一層の徹底を図られたい旨関係当局から強く要請を受けているとの報告がなされました。続いて当日講師としてお迎えした、ミサワ損保サービス、見澤芳昭代表より、当センターで

車と同等扱いの「車両」に属し、夜間の無灯火、傘などさしての片手運転、右側通行などは單なる違反行為ではなく、禁止行為で他者に損傷を与えた場合は、罰則が適用されるなど。

当センターでは平成8年度（4月以降12月まで）に入つて6件の傷害事故が発生していますが、うち4件を自転車による通勤途上事故が占め、苦慮している問題とも偶々一致し、防止への示唆ともなる有意義なものでした。

さて、平成9年の新年を新たな想いで健やかに迎えられたことと思います。しかし、一方でセントラーリとして平成8年度事業年度総じめくくり最後の3ヶ月のスタート。新しい年の新たな決意の一方で、締めくくりの安全就業に万全を期していました



会場を埋め尽くす会員

シルバー親睦旅行記

平成8・9・26～27

新所沢地区 藤原知直



ホテル玄関前にて1号車の皆さん



ホテル玄関前にて2号車の皆さん

今年はバスが回って集めてくれるので、朝は早いが楽だ。指定場所に着くと顔見知りが集まつていて、声高に挨拶している。天気は何とももちそうだ。

セントラル前で一台のバスに分乗して出発、十六号を通って八王子インターから中央高速道に入る。「あれ、左入町を右折かよ。」などガヤガヤにぎやかだ。早くもカラオケが始まると、セントラルやおつまみも配られて来る。談合坂で休憩。中央高速は両側の防音壁が少なく山が見えて展望が良い。ガイドさんがこれから行程をマイク。仲々きれいな人だ。そしてまたカラオケ。勝沼で高速を降りる。なだらかな丘一面が葡萄園だ。景德院と惠林寺を回る。ここは甲斐の豪族武田氏最後のところ、ガイドさんの説明に感傷的になる。心頭を減却すれば火もまた涼し、あの時代の名も無き人達が殺されたろう。

昼食後、惠林寺の庭を観る。これはまことにすばらしい。ワイン工場では期待の試飲だったが、すでにほろ酔いで味が判ら

なくなっている人もいる。
まだ明るいうちに湖南荘に着く。仲居さんたちが並んで出迎える。部屋に入ったトタン窓一

面にひろがる湖の景色より「え

んだ」の声が先に出る。約九畳の広さに置は十一枚敷いてある。この宿は構えは大きいが半分は使っていない様子で暗くほっこりのまま。客がエレベーターと宴会場と風呂を往復するだけだから、めったに使わない階段も樂屋の様だ。皆早々に風呂に行く。風呂からの富士がきれいだった。

翌朝はさすがに眠そうな顔、

まだ元気を使い切った顔、皆

ぞろぞろバスに乗る。ガイドさ

んの声が明るくひびく。空も明

る。

忍野八海はよく写真で紹介されている二つの池だけが観光地で、後は水も枯れて見るかげもないそうだ。沼津の魚センターでは、期待に反して薄い刺身だったが、屋めしには満腹して帰りのバスの中は皆マグロになつた。六時無事帰着。お世話役の方

芸達者が酒宴を盛りあげる。役員苦心のくじもあり、新任挨拶

忍野八海はよく写真で紹介され

ている二つの池だけが観光地で、後は水も枯れて見るかげもない

そうだ。沼津の魚センターでは、期待に反して薄い刺身だ

ったが、屋めしには満腹して帰りのバスの中は皆マグロになつた。

六時無事帰着。お世話役の方

平成8年度 会員親睦旅行会計報告 平成8年9月26日(木)～27日(金)

<収入の部>

摘要	金額	備考
会費	1,422,000	79×18,000 理事長・専務含
職員負担金	20,000	2×10,000
祝金	30,000	理事長・松野各1万円 保健婦・専務各5千円
繰越金	52,385	前年度繰越金及び預金利子
合計(A)	1,524,385	

<支出の部>

摘要	金額	備考
宿泊費	844,600	奉仕料・消費税含む
お土産代	101,890	
昼食	247,142	飲み物含む
拝観料	20,500	惠林禅寺
車内飲物	77,580	
宴会費	137,294	
乗務員謝礼	15,000	乗務員等謝礼 5人分
保険料	16,600	
雑費	4,022	フィルム等
乗務員宿泊	28,840	
合計(B)	1,493,468	
収支差額(A-B)	30,917	残金(C)

残金(C)につきましては、次年度繰越とさせて頂きます。

尚、伊藤・兼松両副理事長より懇親会賞品、及び佐藤理事より清酒等頂きました。

バス借上げ料・有料道路代につきましては、センターで負担いたしております。

(社) 所沢市シルバー人材センター事務局

役員、正副地区委員、職員合同県外研修

長野市シルバーパートナーセンター

研修訪問記

監事塚本幸子

去る十月二十九日（火）～三
十日（水）の両日、当センター
役員・地区委員並びに職員合同
の県外研修会が、長野市シルバ
人材センター研修訪問を主に実
施され、役員の一人として参加、
同センターの活発な事業活動そ
の他を広く見聞して参りました。
今回は事前に当センター並び
に訪問先センターとの、人員・
組織構成、事業の形態・活動・
実績その他諸事項について研修
調査対照表が参加全員に配布さ
れると共に、先方にも送付され、
限られた訪問時間内に目指す主
たる研修事項について洩れなく
質疑応答ができ、比較研修が可
能という極めて効率的で画期的
とも言える研修会が、従来と変
わって企画・実施されたことを
先ず嬉しく感じました。

戴くと共に質問に応じて下さいました。質疑の中、結局両者同質の問題を抱えていることで、応酬はむしろ親近感を深める結果となりました。両センター対照の一部は下表に示すとおりでした。人口構成では所沢市の方がちょっと若い感じ。



長野市シルバー人材センター入口前ロビーにて

別表 斎浪・長野両市センター調査対照表(一部)

所沢市		長野市	備考
人口 (A)	320,513人	357,360人	平成8年3月31日
60歳以上人口 (B)	46,468人	78,867人	"
60歳以上人口率B/A	14.5%	22.0%	"
会員数 (C)	709人 男484 女225	955人 男637 女318	"
60歳以上人口の会員加入率C/B	1.53%	1.21%	"
就業実人員 (D)	562人	894人	"
会員就業率D/C	79.3%	93.6%	"
事業収入 (E)	28,359万 公共7,299万 民間21,059万	38,731万 公共7,891万 民間30,840万	平成7年度実績
会員一人当たり事業収入額E/C	400,000円	405,500円	"
地区委員及び副地区委員の役割等	地区委員11地区11名 副地区委員各地×23名 ・年1回地区懇談会開催 ・会費の徴収、シルバーだより等連絡書の配布その他	地区班長19地区19名 地区副班長 52名 ・年2回各班会議 ・会費の徴収、シルバーだよりの配布 ・一部就業会員の手配	

一番目を引くのは長野市の所属会員就業率九三・六%という驚異的とも思える数字。要因について、事務局と地区正副班長さんとの密接な連携による就業開拓、その他特殊事情、例えば国道の年間何回かの全会員の動員を要する程の除草・清掃作業の受注があり、正副班長さんが主体となって会員に連絡、必要人員を確保して発注に応じるなど、事務局並びに会員相互の信頼と団結の強さなどを窺い知る事が

出来ました。往路車中では、長野市出身の長野理事の故郷に想いを寄せての誇り高い県歌「信濃の国」の歌唱に心を打たれ、又窓外に連なる信濃路名山の錦秋の饗應に至福の時を過ごさせていたくなど、実り多い意義ある研修でした。

今後、長野市シルバー人材センターの益々の発展と会員皆様のご健勝ご多幸を祈念申し上げながら、長野の地を後にいたしました。

II 懸命にシルバー人材センターPR II

“新企画で市民フェスティバルに参加”

実行委員長 秋山 健

十月二十六日（土）～二十七日（日）の両日、第十七回所沢市民フェスティバルが本年も所沢航空記念公園を会場に開催され、好天に恵まれ両日を通じての入出は計四十六万人という賑わい。

当センターでは従来、この行事

参加に当たっては事務局主体でしたが、今回から理事（兼松）並びに事業（澤口）、婦人（石田・保坂）、広報（藤原）から選出された六名の委員と事務

局から新井主任が加わり、計七名で実行委員会を組織、企画・運営のすべてに当たることとなり、九月十日第一回実行委員会を開催、不肖秋山がその実行委員長を仰せつかりました。

以後、十月二十五日まで四回の実行委員会を開催、当日を迎えることができました。

シルバー人材センターのフェスティバル参加は、センターの事業の内容をより多くの市民の方々に紹介、一層のご支援ご協力ををお願いするのが主眼。従つて



センターPR、手工芸品の販売に活躍する
実行委員、会員の皆さん

実行委員会を編成、委員の企画に基づく参加という初めての試みで、反省点は多々ありました。が、委員と多数会員の方々並びに事務局皆さんのお力添えで、一応成功裡に終了させていただきました。事に対し厚く御礼申し上げる次第です。



クアパレス“おがの”前にて

四回の実行委員会は主眼に添うべくあれこれと奇抜なアイデアが提案されました。左記内容に取りまとめ初めての試みとしては一応成功裡に終了することができたと自負しております。

①「相談コーナー」を設け、実行委員の他、会員数名の協力を得、事業の内容紹介のチラシ配布（四十代・五十代の人はまだ反応が薄く感じられた）

べくあれこれと奇抜なアイデアが提案されました。左記内容に取りまとめ初めての試みとしては一応成功裡に終了することができたと自負しております。

②盆栽の即売（植木職の皆さん手作りの品々約二十鉢、初日の盛況）

なお、高野理事長、伊藤副理事長はじめ役員並びに多数会員の方々の激励・応援をいたしました。特にこの度は委員会発足と同時に婦人部会員多數の方々がセンター内に集まつて、連日アクリル手編束子の作り方受講・作製、また各地区毎に会員皆さんお手玉の作製に全面的なご協力が成功を収められた主因で感謝に耐えない次第です。

(○澤田委員の特技による鮮明な看板各種を掲出（昨年までのぼり旗から一新）

①婦人部会員手芸品の数々、即売（アクリル手編タワシ、お

手玉、エプロン等）

②竹トンボ・コマ・色紙の即売（澤田義雄会員手製で略完売

=婦人部だより=

婦人部主催

日帰り研修バス旅行
に参加して!!

吾妻地区

和田喜美子

市役所高齢者福祉課の阿部さんの巧みな案内に感心して聞き入りながら十一時には秩父美術館に到着。美術館、仏教資料館民族博物館を博識な阿部さんの説明を聞きながら廻り、又ゆっくり訪れてみたいという想いを残しながら出発。丁度見頃に紅葉した山々を眺めながら、素敵なかハーブ橋を渡り秩父ミューズパーク「スポーツの森」を抜けて「クアパレスおがの」に予定通り着きました。今にも小鹿の現れそうな眺望の良い山の上に建つクアパレスは一寸しゃれた円型のお城を思わせる建物でした。早速昼食をいただき小休止の後入浴。青空に浮かぶ綿雲を眺めながらの温泉、茶湯は最高でした。すっかり疲れをいやし美人にしてくれた気分です。一々しい姿の武甲山に見送られながら帰途につきました。途中、酒造りの森「秩父錦」に寄り、それぞれ愛する人にお土産を買いました。親しくお話ししたりお風呂に入ったり楽しい一日でした。事務局の方々、齋藤コーディネーター、大変お世話になりました。有難うございました。

皆さんのがんばり結果 (平成8年7月~10月まで4ヶ月事業実績)

月	会員数	受託件数	就業人員		契約金額			計
			実人数	延人数	配分金	事務費	その他	
7	719	201	415	6,334	26,250,274	1,700,878	1,048,161	28,999,313
8	729	187	387	5,637	23,255,438	1,477,161	785,688	25,518,287
9	738	157	401	5,732	23,518,258	1,664,210	734,888	25,917,356
10	747	224	403	6,227	25,565,492	1,994,379	847,661	28,407,532
計			769	23,930	98,589,462	6,836,628	3,416,398	108,842,488
前年度同期との比較	+ 43	+ 38	+ 2,540	+ 11,061,687	+ 851,153	- 73,299	+ 11,839,541	

お知らせ

あとがき

会員安全就業研修会の開催

平成8年度、第2回安全就業（健康管理）研修会を開催いたします。繰り合せご参加下さい。

記 平成9年2月14日（金）午前9時30分より（配 分金支払い日）

一、日時 旧市役所庁舎4階会議室

一、場所 旧市役所庁舎4階会議室

一、内容 高齢者の健康管理について

一、講師 所沢市役所保健福祉部 健康推進課成人保健係 保健康婦 近藤 真弓先生

二、内容 高齢者の健康管理について

二、講師 所沢市役所保健福祉部 健康推進課成人保健係 保健康婦 近藤 真弓先生

二、内容 高齢者の健康管理について

二、内容 高齢者の健康管理について

明けましておめでとうございます。

昨、平成8年度は住専問題に始まり、金融業界の不祥事、政・官挙げて的一大贈収賄疑惑の続発等々、全国津々浦々に汚濁にまみれた腹立たしいことの多い一年でした。さて、今年平成9年はどの様な年になるのでしょうか……。

行政改革！ 景気回復！ 何でも結構。少しでも明るい年であつて欲しいものです。

昨年の当センターの最大課題は「会員就業率のアップ」にあります。この課題も会員皆様並びに役・職員の方々の地道な努力により確実に向上了つある事は、大変喜ばしい事と思います。

今、全国的な運動となつた「福祉・家事援助サービス」。福祉行政の一環として大事なテーマの一つです。当シルバー人材センターにおいてもこの運動の推進を大きな使命ととらえ、本年度は更に大きな前進が期待されます。

新年号の発刊は本年から初めての試みです。会員諸兄姉のご寄稿、ご協力を頂き本年も担当者一同、更なる紙面の充実を図るべく頑張りますので、よろしくお願い申し上げます。

末筆ながら会員皆様のご健勝、ご多幸をお祈りいたします。(五社)

記 平成9年1月29日及び31日の両日

一、日時 平成9年1月29日及び31日の両日

一、場所 コンセールタワー内2階“ふらつと”ロビー

一、作品 絵画・書・陶芸・手工芸品・盆栽・その他

一、提出期限 平成9年1月20日までにセンター事務所へ。盆栽については1月29日の午前10時までにセントラル事務所へ。盆栽に会場へご持参下さい。(注)出品者には粗品を差し